

**2026年12月期
第2四半期
決算説明資料**

2026年 8月 4日

 **立川ブラインド工業株式会社**
(東京証券取引所 プライム市場 証券コード 7989)

1. 2026年12月期 第2四半期決算概況 P.03
2. 2026年～2028年
中期経営計画の進捗状況 P.15
3. 企業価値向上の取組み
(資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応) P.23

Appendix

1. 2026年第2四半期決算概況

- ・ 第2四半期における売上高は、主力の室内外装品関連事業を始め、全セグメントが増収となるなか、駐車場装置関連事業、減速機関連事業において大幅な増収となった
- ・ 売上高の増加に加え、販売価格の改定効果や経費削減効果等もあり、各段階利益とも増益となった

2. 2026年12月期 業績予想

- ・ 中東情勢の緊迫化により供給面での不安定さが生じるなか、調達コストに影響が生じており、原材料価格の高騰に対しては販売価格の改定を実施予定
- ・ 連結業績予想については、現時点において2026年2月10日に公表した予想の変更なし
(今後、状況の変化により連結業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに公表)



1. 2026年12月期 第2四半期決算概況

・主力の室内外装品関連事業を始め、全セグメントで増収

（売上高前年比：室内外装品関連事業101.3%、駐車場装置関連事業168.3%、減速機関連事業113.9%）

駐車場装置関連事業ではパズルタワーの新設物件の増加などがあり、大幅な増収となった。

・原材料価格の上昇に対する価格改定効果や、広告宣伝費等の販管費の減少により増益。

（単位：百万円）

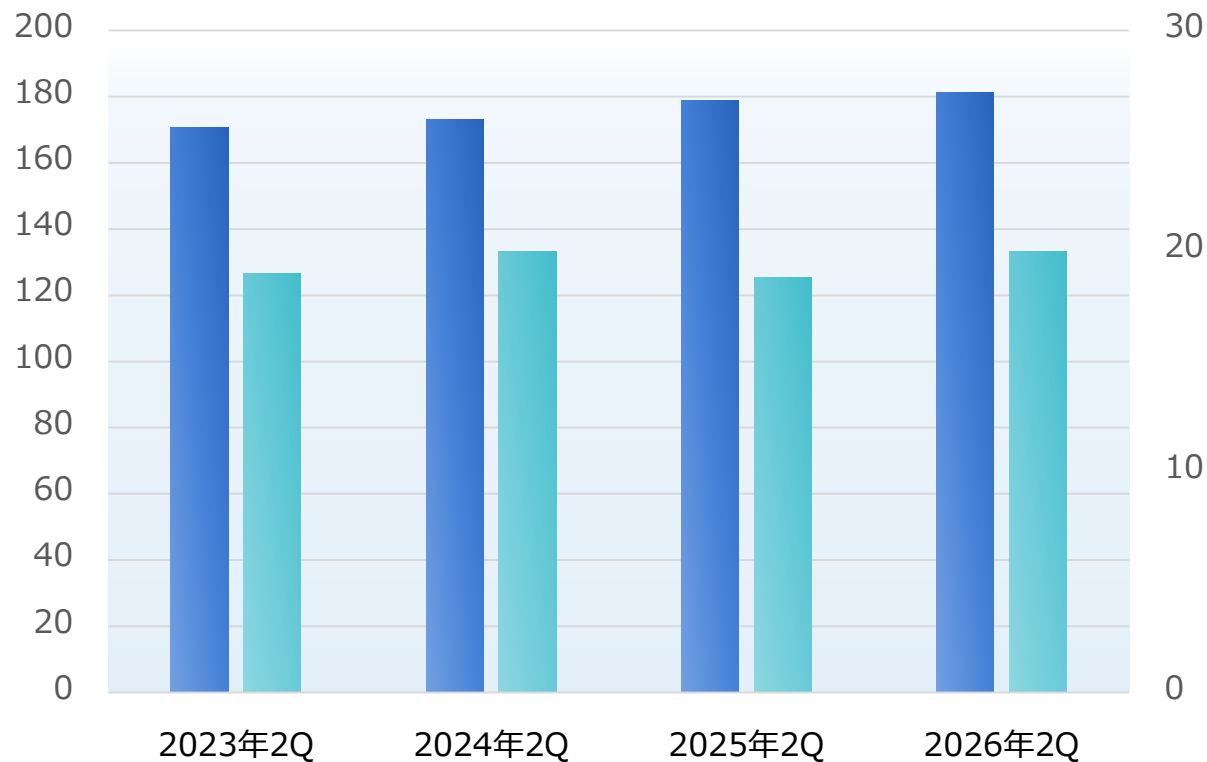
	2026年度第2四半期			2025年度第2四半期	
	金額	構成比	前年比	金額	構成比
売 上 高	22,095	100.0%	↑ 106.4%	20,771	100.0%
売上総利益	9,099	41.2%	↑ 104.1%	8,736	42.1%
販売費及び一般管理費	6,554	29.7%	98.7%	6,642	32.0%
営 業 利 益	2,544	11.5%	↑ 121.5%	2,094	10.1%
経 常 利 益	2,682	12.1%	↑ 122.6%	2,187	10.5%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,775	8.0%	↑ 102.3%	1,734	8.4%

室内外装品関連事業

- ・ファブリック製品の生地ラインナップの拡充や、電動製品の強化など、顧客のニーズに合わせた新製品を発売
- ・調光ファブリック製品、家庭用電動製品の需要を開拓したことで、売上が伸長し増収
- ・価格改定効果や、販管費の減少により営業利益は増益

売上：億円

利益：億円



売上高

前年比

181億10百万円

101.3%

営業利益

前年比

20億00百万円

106.3%

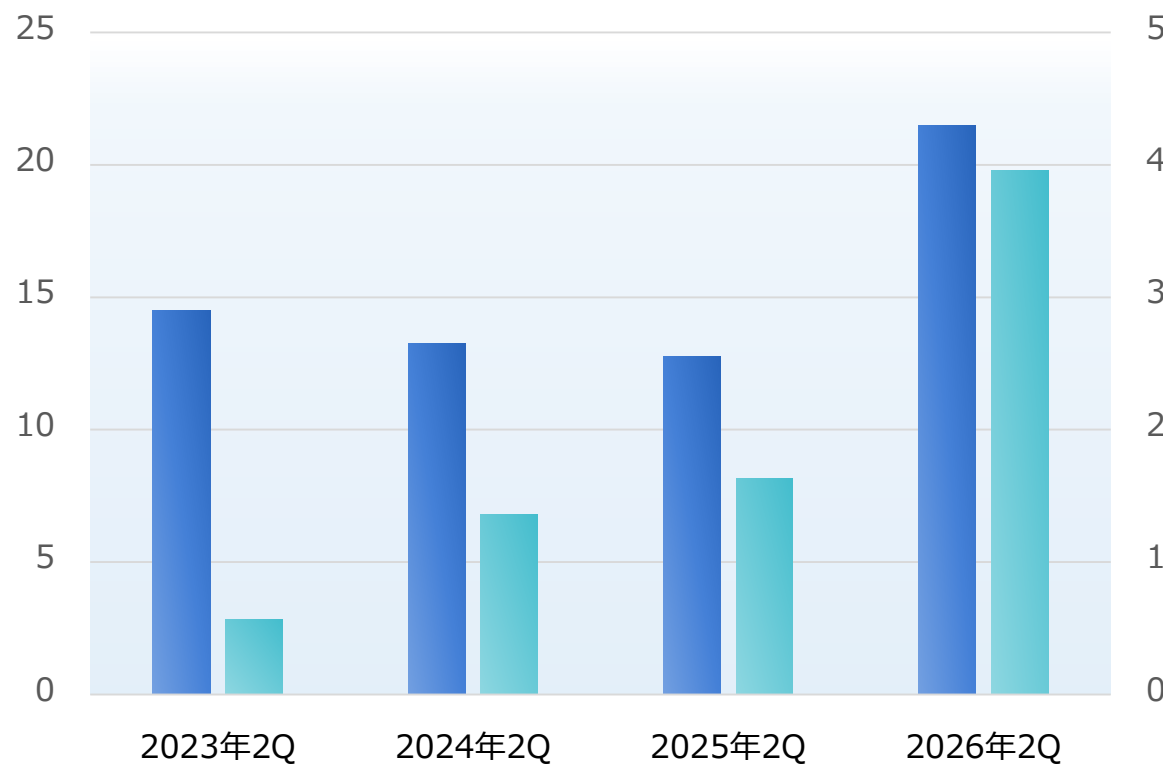


駐車場装置関連事業

- ・インバウンド需要に伴いホテル等に併設された立体駐車場が増加
- ・パズルタワーの新設物件の売上が工期変更により前倒しとなり増加、既設物件に対する改修案件が好調に推移
- ・売上高の大幅な増加や、利益率の高い改修案件の売上計上により、営業利益は大幅に増益

売上：億円

利益：億円



売上高

前年比

21億48百万円

168.3%

営業利益

前年比

3億96百万円

241.8%

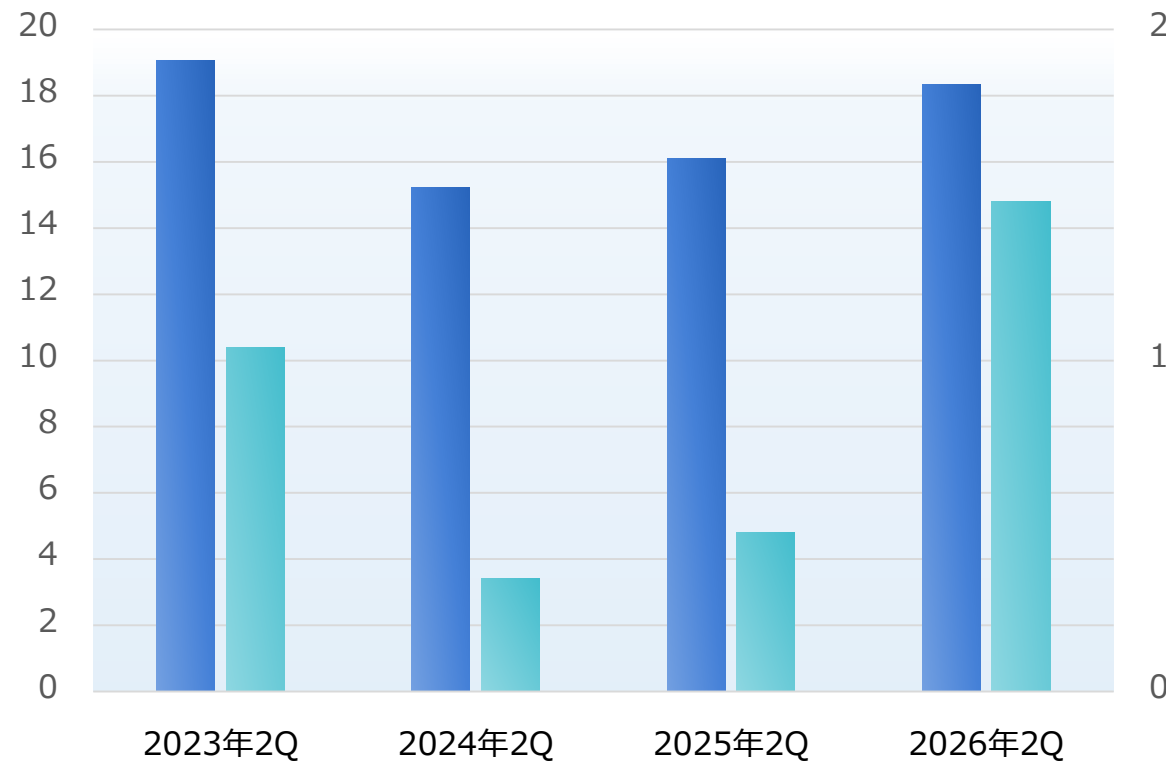


減速機関連事業

- ・ 工作機市況が緩やかに回復する中、価格改定効果もあり、汎用減速機の売上が増加
- ・ 無人搬送台車（AGV）等の需要拡大に伴いオーダー品の売上が増加
- ・ 売上高の増加や、前年に実施した汎用減速機の価格改定効果により、営業利益は大幅に増益

売上：億円

利益：億円



売上高

前年比

18億35百万円

113.9%

営業利益

前年比

1億48百万円

303.5%



- ・ 中四国支店、札幌製作所の建設工事などの設備投資や、社債の購入等により固定資産が増加。
- ・ 政策保有株式の時価上昇に伴い、投資有価証券及び有価証券評価差額金が増加。

単位：百万円

項目	2025年 12月末	2026年 6月末	増減	主な増減要因
流動資産	41,228 (60.9%)	39,951 (58.6%)	△1,277	現預金△1,013、売上債権△1,229、棚卸資産＋417
固定資産	26,506 (39.1%)	28,167 (41.4%)	＋1,660	有形固定資産＋524（中四国支店建設、札幌製作所建設） 投資有価証券＋1,287（株価上昇、社債購入）
流動負債	8,669 (12.8%)	7,431 (10.9%)	△1,237	支払債務△911
固定負債	2,712 (4.0%)	3,004 (4.4%)	＋292	
純資産	56,353 (83.2%)	57,681 (84.7%)	＋1,328	利益剰余金＋769（利益計上、期末配当） 有価証券評価差額金＋547
総資産	67,735 (100.0%)	68,118 (100.0%)	＋383	

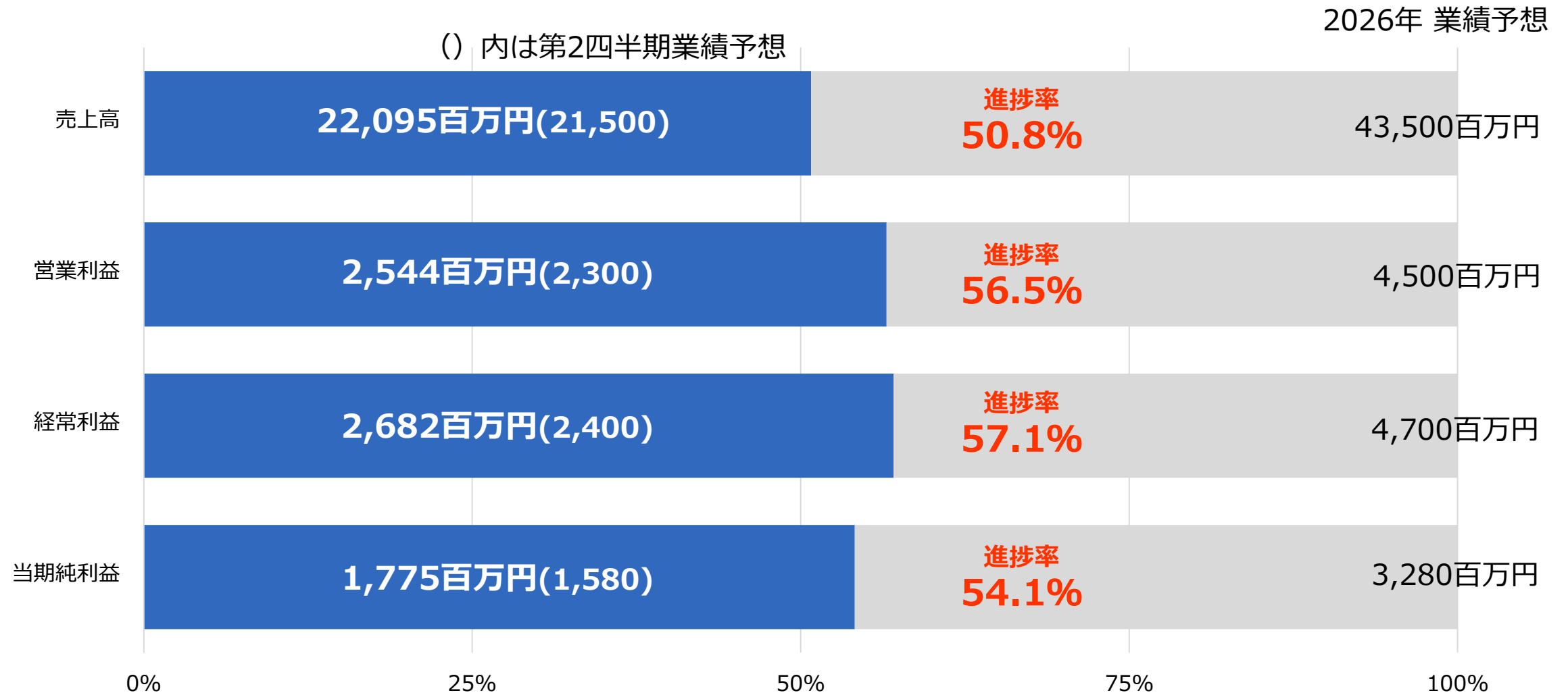
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは堅調に増加。
- ・現預金は札幌製作所移転計画の建設費用の支払や、社債購入、期末配当金の支払により減少。

また、3カ月超の定期預金が増加したことで、現金及び現金同等物が減少。

単位：百万円

項目	2025年 2Q	2026年 2Q	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	+ 2,016	+ 2,154	● 営業活動 ・ 税金等調整前利益 + 2,681 ・ 売上債権の減少 + 1,219 ・ 棚卸資産の増加 △ 409 ・ 法人税の支払 △ 900
投資活動による キャッシュ・フロー	+ 217	△ 3,549	● 投資活動 ・ 有形固定資産の取得 △ 1,054（中四国支店、札幌製作所建設） ・ 無形固定資産の取得 △ 297 ・ 投資有価証券の取得 △ 995（社債購入） ・ 定期預金預け入れ △ 1,400
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 669	△ 1,038	● 財務活動 ・ 配当金の支払 △ 1,001（期末配当）
現金及び現金同等物の 増減額	+ 1,543	△ 2,413	
現金及び現金同等物の 期末残高	16,520	12,700	

【業績の進捗】 業績は堅調に推移しており、利益については年初予想を上回る進捗。



2026年第2四半期の業績は好調に推移するも、中東情勢の緊迫化により供給面での不安定さから、調達コストに影響が生じており、原材料価格の高騰に対しては販売価格の改定を実施予定
連結業績予想については、現時点において2026年2月10日に公表した予想を据え置き

単位：百万円

連結	2024年	2025年	2026年	
			業績予想	前年比
売上高	41,407	42,623	43,500	102.0%
営業利益	4,361	4,411	4,500	102.0%
利益率	10.5%	10.3%	10.3%	
経常利益	4,376	4,629	4,700	101.5%
利益率	10.6%	10.9%	10.8%	
当期純利益	2,802	3,239	3,280	101.2%
利益率	6.8%	7.6%	7.5%	



2. 2026年～2028年 中期経営計画の進捗状況

メーカーとして「ものづくりと市場づくり」「成長に向けた投資」「社会貢献」に注力し、成長・飛躍へとステップアップ

テーマ | 快適な暮らしの創造 ～社会貢献から企業価値を向上～

ものづくりと市場づくり

安心、安全、健康、環境をテーマに住空間における快適な製品を提供

的確な市場分析、ニーズ分析等によるメーカーとしての需要創造

- ・製品の差別化、技術・生産力向上
- ・技術研究棟の最大活用
- ・新発想、新技術による製品投入
- ・事業領域の拡大
- ・知名度、ブランド力向上

成長に向けた投資

DX投資

効率化、品質向上、省人化投資

人的資本投資

経営基盤の礎となる人材確保と育成
働きがいの追求

- ・営業支援ツール等のデジタル投資
- ・スマートファクトリー化
- ・在庫管理の自動化
- ・情報セキュリティ強化
- ・社員との対話充実
- ・処遇、評価・育成制度の見直し
- ・業務の棚卸、業務プロセスの見直し

社会貢献

サステナビリティへの取組み
社会・環境課題解決に向けた取組み

- ・環境課題への取組み
 - ・環境配慮型製品の拡充
 - ・自社CO₂排出量削減
 - ・植林活動等推進
- ・GREEN×EXPO2027協賛

●調光ファブリック製品

- ・2026年6月「調光ロールスクリーン ルミエ」拡充
『手動製品：機構部リニューアルによる遮蔽性の向上、遮光生地を追加 電動製品：バッテリー仕様の拡充』
- ・2026年8月「調光タテ型ブラインド エアレ」拡充
『大開口窓に最適な「両開き仕様」と「2連取付仕様」を追加』

2026年6月 調光ロールスクリーン「ルミエ」拡充



2026年8月 調光タテ型ブラインド「エアレ」拡充



●間仕切 プレイス 移動収納 下荷重仕様

- ・ 2026年5月、間仕切プレイスに移動収納の下荷重仕様を追加。
- ・ オフィスや店舗で高まる柔軟な空間設計へのニーズに対応。
大がかりな下地補強が不要で、既存施設でのリフォーム需要への対応や工期短縮・工事費削減に貢献。



プレイス 移動収納 下荷重仕様

● 中四国支店・広島ショールーム 新社屋建設

- ・ 2026年2月 竣工、2026年4月 稼働
- ・ 総投資額 5.6億円

- ・ 旧広島支店と高松支店を統合の上、新社屋を建設し中四国支店・広島ショールームを開設。
- ・ 近隣に住宅展示場や家具メーカーのショールームが所在し、ホームユースのユーザーの目に留まりやすい立地。ショールームへの集客誘致および指名買いによるスペック拡大に注力。



中四国支店・広島ショールーム外観



広島ショールーム内装

●北海道支店改修工事・札幌ショールーム リニューアル

- ・2026年7月 札幌ショールーム リニューアル
- ・総投資額 0.5億円
- ・売上のボリュームゾーンであるホームユースユーザーをターゲットとした製品展示を増やし、調光タテ型ブラインド「エアレ」をはじめ、電動製品「ホームタコス」シリーズや間仕切「プレイス」等の製品を拡充。
- ・打ち合わせスペースやカタログ棚を増設し、来館者がゆっくりと見学・検討できるレイアウトへリニューアル。



●サステナビリティへの取り組み（社会・環境課題解決に向けた取り組み）

2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」に協賛



提供：2027年国際園芸博覧会協会

©Expo 2027

- ・2027年3月19日より、神奈川県横浜市で開催される2027年国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」に「ブロンズパートナー」として屋外展示プロジェクトに協賛。
- ・木製ブラインド「フォレティアエグゼ」を製品提供。併せて、加賀友禅の意匠を施した加賀友禅ブラインドを展示。

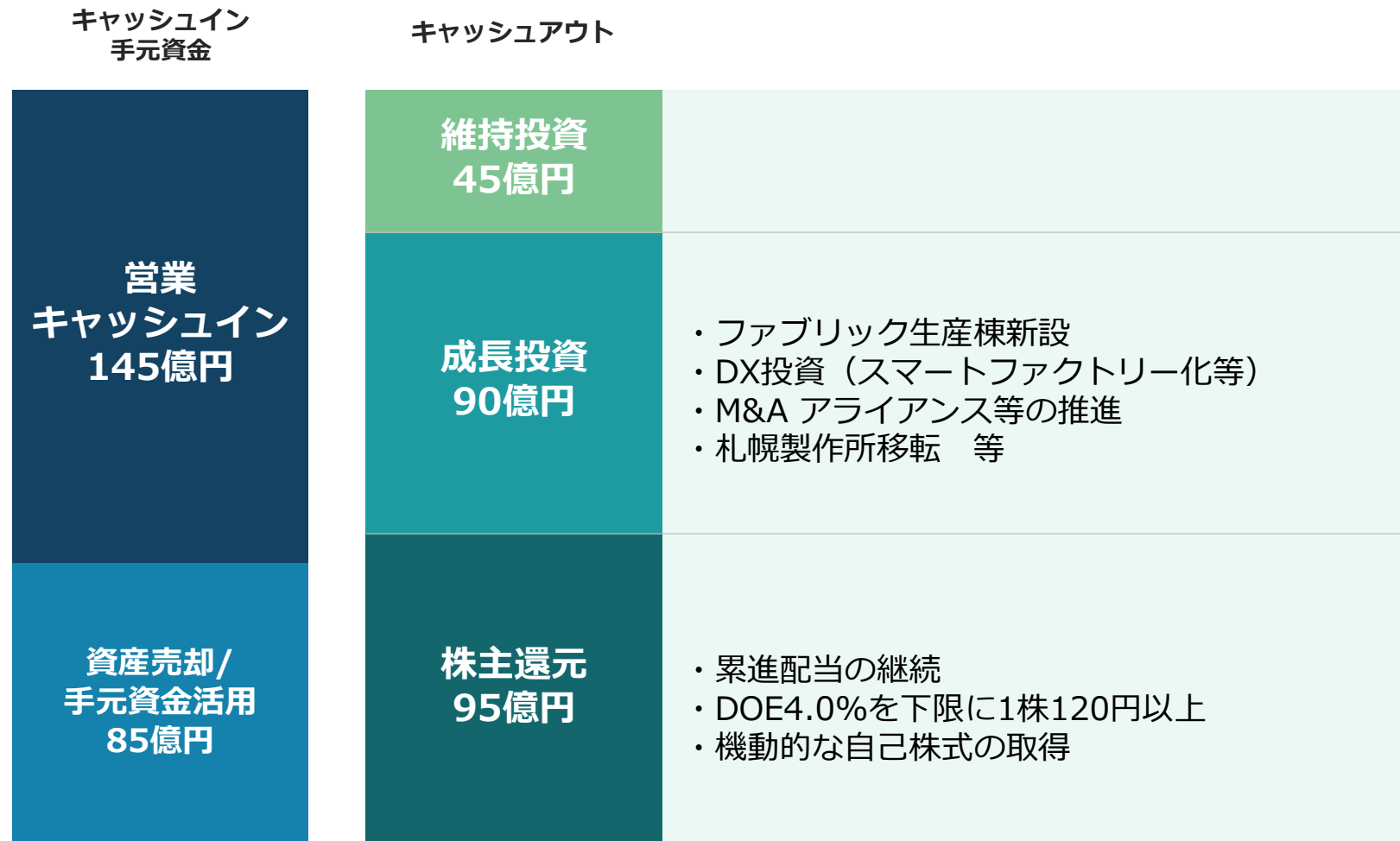
森林再生プロジェクト「Present Tree」に参加 木製ブラインド 売上の一部を寄付



- ・事業を通じた持続可能な社会の実現を目指し、環境配慮と顧客参加型の環境貢献として、認定NPO法人 環境リレーションズ研究所の「Present Tree」に参加。
- ・2026年1月より、木製ブラインド「フォレティア」シリーズの売上の一部を「Present Tree」に寄付し、植樹による森林再生活動を支援。

営業キャッシュインと手元資金や負債の活用等により、前中期経営計画から成長投資と株主還元を大幅に増加。
成長投資は90億円、株主還元はDOE4.0%を下限に95億円を計画。

＜中期経営計画＞



※ M&A等成長投資においては、借入金の活用を検討。



3. 企業価値向上の取組み

(資本コストや株価を意識した
経営の実現に向けた対応)

・PBRの状況

	2025年						2026年					
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
PBR	0.63倍	0.68倍	0.72倍	0.70倍	0.73倍	0.70倍	0.69倍	0.94倍	0.89倍	0.90倍	0.87倍	0.88倍
ROE	5.8%					5.9%						
PER	11.4倍	12.2倍	13.1倍	12.7倍	13.4倍	12.3倍	12.0倍	16.3倍	15.6倍	15.8倍	15.2倍	15.4倍

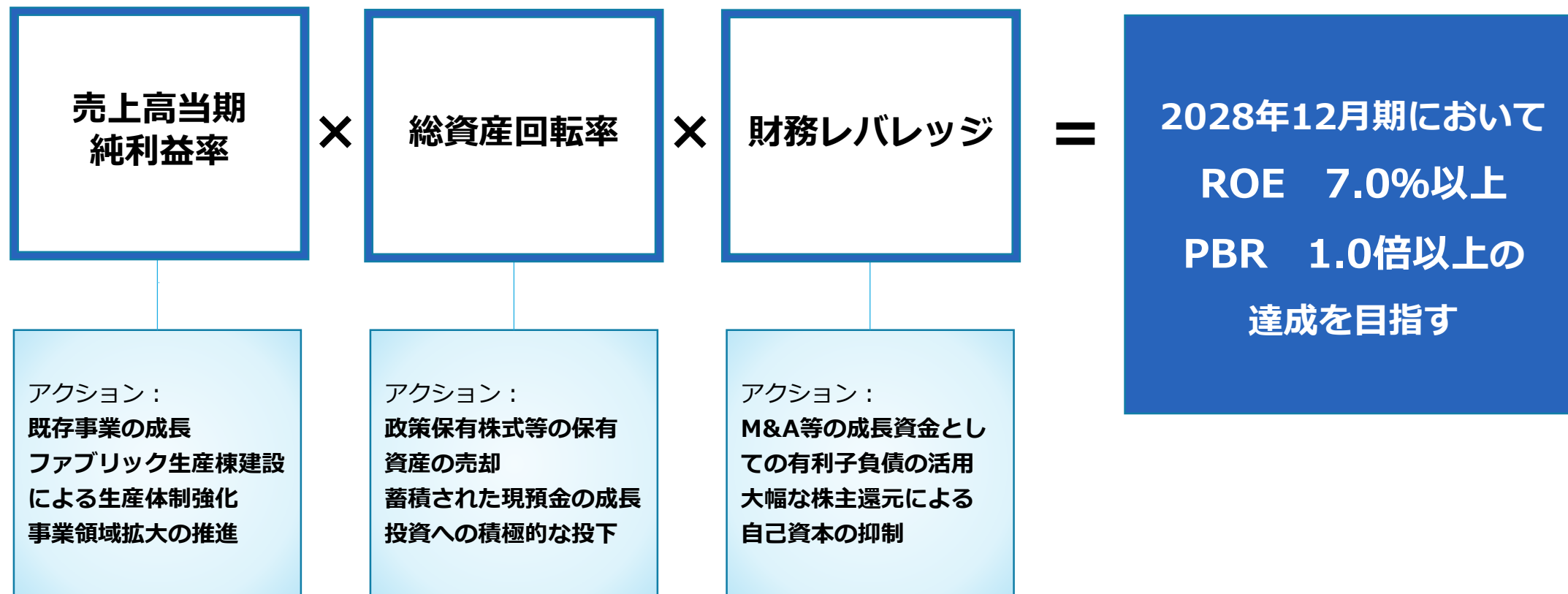
・株価推移



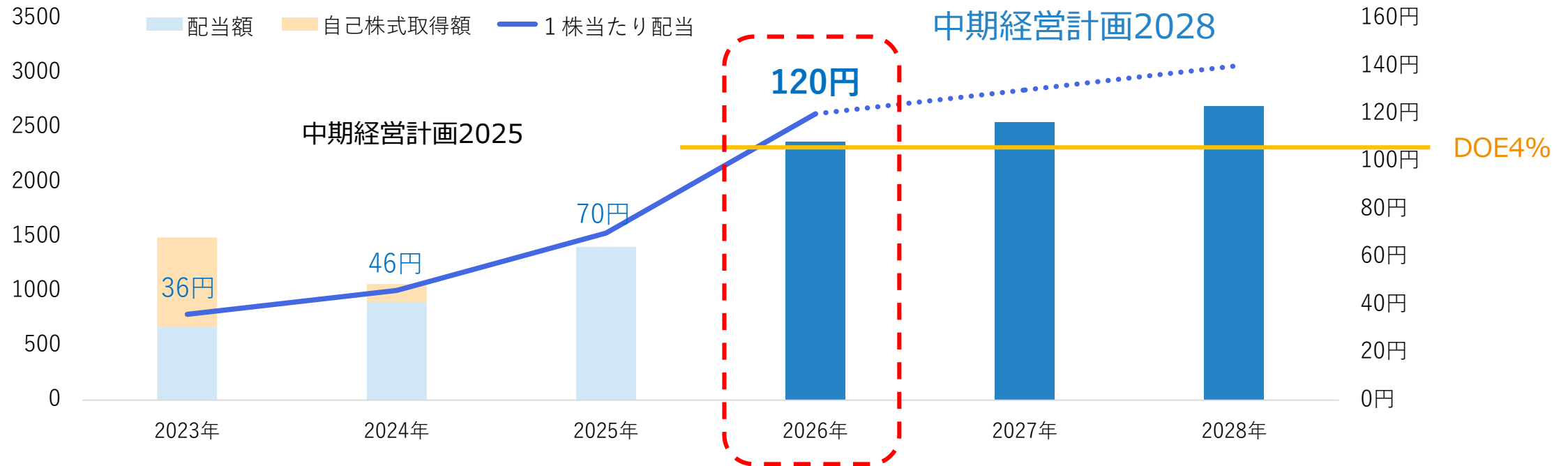
【現状の認識と課題】

- ・ 2026年2月に中期経営計画2028を発表し、
株価が大幅に上昇したことで、
PBR・PERが上昇
- ・ 資本コスト（5.5%～6%程度と推定：CAPM）
を上回るROEを計上出来ておらず
PBRは1倍割れの状態が
続いている
- ・ 資本コストを上回るROEを
計上していくことが必要
…2028年12月期までに7.0%以上を目標
- ・ 事業の成長性に対する期待を高め
更なる企業価値向上を進めていく
ことが課題

企業価値向上の設計図（ROE改善アプローチ）



単位：百万円



累進配当の継続

業績の成長に伴い配当を維持・増配する「累進配当」を実施
増配ペースは状況を見ながら検討

DOE基準の導入 (下限4.0%)

純資産配当率（DOE）4.0%
を下限に設定
業績変動に左右されない、
強固で安定的な配当基盤を実施

1株120円以上の 年間配当をコミット

2026年度は、左記方針に
基づき1株当たり年間120円
の配当を実施予定

機動的な 自己株式取得の検討

資本効率向上と1株当たり
利益（EPS）上昇のため、
自社株買いの柔軟かつ機動的
な実施を検討

将来見通し等に関する注意事項

本資料における当社グループの今後の計画、戦略等の将来見通しに関する記述は、現時点で予測可能な合理的判断に基づいて作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因で異なる場合がございます。

〔 東京証券取引所 プライム市場 証券コード7989 〕

【お問合せ先】 経理部 IR推進課
03-5484-6128 / tachikawa-ir@blind.co.jp
<https://www.blind.co.jp>



Appendix

企業データ

社名	立川ブラインド工業株式会社 証券コード7989
創業	1938(昭和13)年5月 ※1947(昭和22)年に株式会社改組
資本金	44億7,500万円
従業員	連結 1,265人、単体 806人（2026年6月末現在）
本社	東京都港区三田三丁目1番12号
事業	各種ブラインド／間仕切／ カーテンレールの製造・販売・設計施工
拠点	【営業拠点】 全国 13支店 58営業所 【製造拠点】 2工場 3製作所 【ショールーム】 10カ所 【ディスプレイスペース】 2カ所 【連結子会社】 8社



事業所・ショールーム一覧



《主要拠点にショールーム
ディスプレイスペースを設置》

- 新 宿ショールーム (2026年1月オープン)
- 札 幌ショールーム (2026年7月リニューアル)
- 仙 台ショールーム
- さいたまショールーム
- 横 浜ショールーム
- 名 古 屋ショールーム
- 大 阪ショールーム
- 広 島ショールーム (2026年4月オープン)
- 福 岡ショールーム
- 上 海ショールーム . . . 海外 (中国)
- 新 潟ディスプレイスペース
- 金 沢ディスプレイスペース

売上高(営業利益)
2025年12月期

事業概要

主な製品

室内外装品
関連事業

359.4 億円
(37.2億円)
構成比 84.3%

各種ブラインド、
可動式間仕切り等の製造
ならびに販売

- ブラインド
(ヨコ型・タテ型)
- ロールスクリーン
- 間仕切り
- カーテンレール



ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」

駐車場装置
関連事業

30.7億円
(4.7億円)
構成比 7.2%

機械式立体駐車装置の
製造・販売ならびに保守点検

- エレベーター方式・
くし歯式立体駐車場
- 地下式駐車場
- 軽自動車用立体駐車場



エレベーター方式・
くし歯式立体駐車場

減速機
関連事業

36.0億円
(2.0億円)
構成比 8.5%

減速機類の製造ならびに
販売

- 汎用減速機
(ギヤードモータ)
- 特殊減速機
- シャッター駆動装置



汎用減速機
(ギヤードモータ)

用途は、「住宅向け」だけでなく、「オフィス向け」、「公共施設向け」など多様

光を演出する、
お部屋をコーディネートする。

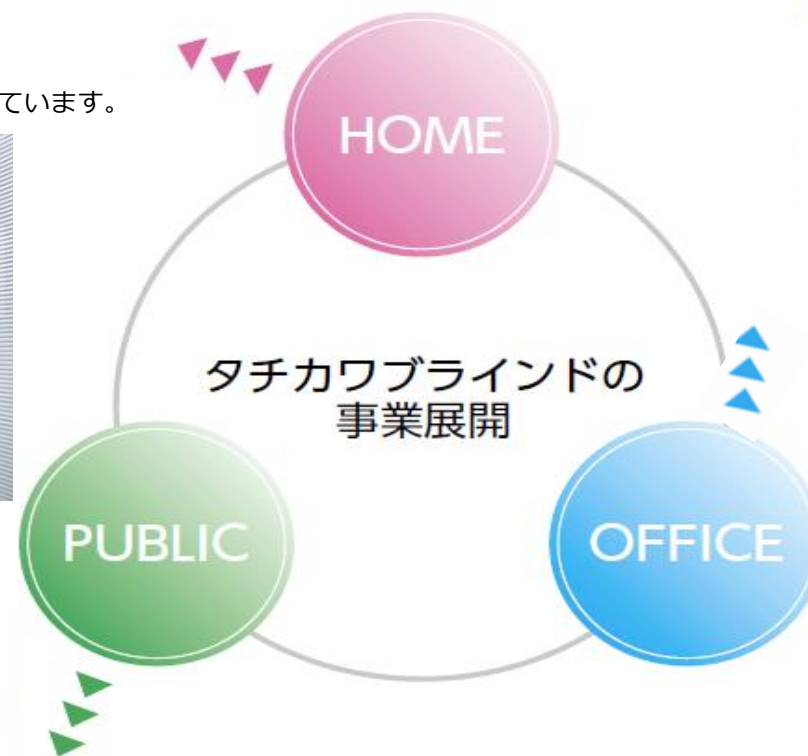
本当にリラックスでき、
快適さを実感できる空間とはなにか…。
私たちは、性能、素材、色彩など、
さまざまな視点からその本質をつねに追求しています。



パーフェクトシルキー〔リビング〕



プレイス〔医療・福祉施設〕



公共施設にふさわしい快適性を追求。

タチカワブラインドは、今までに庁舎、ホテル、学校、医療・福祉施設、スポーツ施設など、都市のシンボルとなる建築物をはじめとしたさまざまな公共施設に納入した確かな実績を誇ります。

高度化するビジネス空間を、
もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。



左：東京ミッドタウン八重洲
電動ヨコ型ブラインド「ローリー-ESSタコスⅡ」
電動ロールスクリーン

右：グラングリーン大阪 北館・南館
動ヨコ型ブラインド「ESS35タコスⅡ」
電動ロールスクリーン 他

豊富なバリエーションを取り揃え、快適な環境づくりに貢献

■ ヨコ型ブラインド

パーフェクトシルキー

スラットにコードを通す穴がなく、遮断性・遮光性・意匠性に優れた最上級のヨコ型ブラインド。



シルキーシェイディRDS /
シルキーRDS

光漏れを低減し、意匠性を高めたシルキーシェイディRDS。スタンダードなシルキーRDS。



■ プリーツスクリーン

ゼファー / フィュー / ペルレ

プリーツ状に加工した生地を上下に開閉することで採光をコントロール。すっきりしたフォルムのスクリーン。



■ 木製ブラインド

フォレティアエグゼ / フォレティア

天然木を使用し、多彩なカラーや樹種をラインナップした意匠性に優れた木製のブラインド。



■ デザインブラインド

アフタービートエグゼ / アフタービート

3つのマテリアル(アルミ・木・ファブリック)の組み合わせが魅力のデザインブラインド。



■ ハニカムスクリーン

ブレア

ハニカム(蜂の巣)構造の生地がつくる空気の層により断熱性が高く、意匠性に優れたスクリーン。



■ ロールスクリーン

ラルクシールド

生地デザイン、カラー、機能が豊富なロールスクリーン。ワイドサッシから小窓まで幅広く対応。



調光ロールスクリーン ルミエ /
デュオレ

2枚のレースの間にドレープを配した立体構造のルミエ。2枚のボーダー柄の生地を前後に配したデュオレ。



■ 間仕切

プレイス / プレイス スウィング

多彩な格納方式と出入りの方法で、仕切りや目隠し、扉など幅広いシーンにおすすめのパネル間仕切り。



■ タテ型ブラインド

ラインドレープ

スラットのデザイン、カラー、機能が豊富な住宅向けタテ型ブラインド。



調光タテ型ブラインド エアレ

U字状の生地で、タテ型ブラインドのスタイリッシュさとカーテンの優しい雰囲気を併せ持つタテ型ブラインド。



■ カーテンレール /
ピクチャーレール

デザイン性、機能性に優れた豊富なラインナップとカラーバリエーションで、用途や部位に合わせて選べる。



● プリーツスクリーン「フィュー」「ペルレ」、ハニカムスクリーン「ブレア」リニューアル

- ・ 2026年4月、プリーツスクリーン「フィュー」「ペルレ」の生地ラインナップをリニューアル。
- ・ 和紙調やスダレ生地、遮熱・遮光生地等の機能性の高い生地のバリエーションを拡充した他、他のファブリック製品との共通生地を拡充。
- ・ また、電動製品 ホームタコス「フィュー」「ペルレ」「ブレア」にバッテリー仕様やスマホ操作を拡充。IoTの普及によるスマートホーム化の進展に合わせて、「ホームタコス」シリーズの利便性を強化。



●ヨコ型ブラインド「シルキー」ハンドル操作 発売

- ・ 2026年5月、ヨコ型ブラインド「シルキー」にハンドル操作を追加。
- ・ ブラインド下部に設けたハンドルを動かして昇降・開閉を行う為、誰でも直感的かつスムーズに操作できる他、操作するコードやチェーンがないことで、すっきりとした意匠性かつ小さな子供やペット等への安全性を考慮した設計。



● 間仕切カーテンレール クロシード 発売

- ・ 2026年6月、間仕切カーテンレールのラインナップをリニューアルし、新たに『クロシード』を発売。
- ・ 近年の働き方の多様性やデスクのフリーアドレス化の浸透により、用途に応じて柔軟に空間を間仕切ることや空間を分断せずにつながりを保ちながら、音や視線を適度にコントロールできる間仕切のニーズが高まっている。
- ・ オフィスや店舗・医療施設など幅広いシーンで利用できるシンプルなデザイン かつ 『吊棒』を用いて天井から吊り下げられるため、カーテンを用いた間仕切の需要に対応。

